

AA19960018

1996.11.25.

日本教育新聞

総合学科、74校に

来年度は29高校で新設

文部省は十八日、来年度に全国で公私立二十九高校が総合学科を新設する見通しだあることを明らかにした。すでに設置した学校とあわせると七十四校となり、総合学科のある都道府県は四十にのぼる。

公立での新設は二十一道県（うち市立高校一県）の二十七校。このうち既設がゼロだった岐阜県は、先行して「産業社会と人間」を開講していた土岐高校（来

脊、土岐紅陵高校を改称予定）を含め、一度に県立四校で整備する。

総合学科導入は生徒急減の下で高校再編成の方策にも活用されている。前年度の晴海総合高校に続き、来脊は山梨県立甲府城西、岐阜県立郡上、同飛騨神岡の三高校がそれぞれ二つの学級を廃除して総合学科独立校をつくる。

私立では、普通科高校でも五校が総合学科に衣替え。専門学科はもとより、普通科も総合学科転換の対象となつていることを印象づけた。

一方、私学では光星学院（うち国立一校）でスター野辺地西高校（青森、現・野邊地工業高校）、福知山淑徳高校（京都）の二校が設置。既設の松栄高校（福島）、校（うち私立一校）と年々増えていた。これで総合学科「空白地帯」は七県だけせず、四校となる。

これにより、一県に四校になるが、同省では「九八

年度以降で設置の計画がない」となり、「通学範囲には必ず用意」（中教審第一次答申）に向けた整備が進みつつある。

されていると聞いている。

そう遠くない時期に全国的

設置が進むだろう」（池田大祐・職業教育課長）とみて

いる。